

## 2020 年度 指導委員会総会

### 1、議案採決結果

- |                   |         |        |
|-------------------|---------|--------|
| (1) 2020 年度事業報告   | 承認 64 名 | 否認 0 名 |
| (2) 2020 年度会計報告   | 承認 63 名 | 否認 1 名 |
| (3) 2020 年度会計監査報告 | 承認 63 名 | 否認 1 名 |
| (4) 2021 年度事業計画   | 承認 64 名 | 否認 0 名 |
| (5) 2021 年度予算     | 承認 63 名 | 否認 1 名 |

指導委員会に所属する指導員 100 名中過半数の承認を頂き、議案は成立しました。  
ありがとうございました。

### 2、ご意見に対する回答

- (1) 計画に S C 養成補助とは？山岳指養成に補助はありません。個人資格に指導員から集めた会費から当てるのは問題

回答：山岳もスポーツクライミングも指導委員会としては指導者養成事業として同等にあつており、SC 養成補助としてスポーツクライミングにだけ特別に補助をしているわけではありません。2021 年度予算の支出の部、検定部の備考欄に「検定会費用補助、スポーツクライミング指導者養成費用補助」と記載しましたが、「指導者養成講習会開催（山岳・スポーツクライミング）補助」とすべきでした。わかりにくい記載をしてしまい、申し訳ありませんでした。

- (2) 一つの会から 2 名の役員はまずい

回答：そのような規定の存在を知りません。役員を選出には大変な苦勞があり、一つの会から 2 名も役員を引き受けてくださっていることに感謝しております。

- (3) 「返信がない場合は委任とみなす」は、問題

回答：昨年度の長山協総会を参考にさせていただいております。結果として返送いただいたハガキにより過半数の承認があり、「期日までにご返送いただけない場合は、委員長に一任されたものとさせていただきます。」は適用しておりません。とはいえ来年以降の総会運営の参考意見とさせていただきます。

- (4) ホームページを見られない指導員はどのように対応

回答：ご家族・友人に頼むなど、自助努力により見ていただくほかないと思っております。

(6) 検定会も協会から委託された事業であり予算減はみとめられない。

回答：2020 年度決算報告の支出内訳のうち、検定部の予算額と決算額の差額のことをおっしゃっていると推測します。この差額はコロナのために指導者検定会（山岳）が実施できなかったために差額が生じたものであります。

(7)事業報告の義務研修会と更新時講習の関係は？

回答：2020 年度事業報告の文章に「指導員資格を有効なものとするには義務研修会に参加する必要があります。」とありますが、これは正しくは更新時講習のことでした。

山岳もスポーツライミングも 4 年に 1 度の更新時講習を受講する必要があります。

訂正してお詫び申し上げます。